

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【公開番号】特開2007-313299(P2007-313299A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2007-106991(P2007-106991)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/0245 (2006.01)

A 6 1 B 5/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 B 5/02 3 2 0 B

A 6 1 B 5/02 3 2 0 Q

A 6 1 B 5/00 1 0 1 E

A 6 1 B 5/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月15日(2010.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体情報検出センサと、

前記生体情報検出センサに接続されたアンテナと、

一方の面が表面であり、他方の面が粘着面である粘着テープと、を有し、

前記アンテナは、前記粘着テープに設けられた溝を介して、前記粘着テープの粘着面から前記粘着テープの表面に取り出されていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記粘着テープの表面には固定機構が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

【請求項3】

請求項2において、

前記固定機構は、前記粘着テープの表面に設けられた溝部であることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

【請求項4】

請求項3において、

前記溝部が複数設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

【請求項5】

請求項3又は請求項4において、

前記溝部の底面に粘着材料が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置

。

【請求項6】

請求項3又は請求項4において、

前記溝部の側面に突出部が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 7】**

複数の薄膜トランジスタが設けられた可撓性の生体情報検出センサと、

前記生体情報検出センサに接続された可撓性のアンテナと、

一方の面が表面であり、他方の面が粘着面である可撓性の粘着テープと、を有し、

前記アンテナは、前記粘着テープに設けられた溝を介して、前記粘着テープの粘着面から前記粘着テープの表面に取り出されていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 8】**

請求項 7において、

前記生体情報検出センサ装置は曲面に設けられ、

前記複数の薄膜トランジスタのキャリアの移動方向と前記生体情報検出センサ装置の曲がる方向とが揃っていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 9】**

請求項 7又は請求項 8において、

前記粘着テープの表面には固定機構が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 10】**

請求項 9において、

前記固定機構は、前記粘着テープの表面に設けられた溝部であることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 11】**

請求項 10において、

前記溝部が複数設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 12】**

請求項 10又は請求項 11において、

前記溝部の底面に粘着材料が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置

。

**【請求項 13】**

請求項 10又は請求項 11において、

前記溝部の側面に突出部が設けられていることを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 14】**

請求項 1乃至請求項 13のいずれか一項において、

前記生体情報検出センサは、一対の電極間に吸湿性の誘電体が介在した素子を有するこ  
とを特徴とする生体情報検出センサ装置。

**【請求項 15】**

請求項 1乃至請求項 14のいずれか一に記載の生体情報検出センサ装置は腕に巻かれて  
いることを特徴とする生体情報検出センサ装置。